

平成30年度 島根県校友会総会・懇親会

平成30年6月30日（土）松江ホテル一畑にて、島根県校友会総会ならびに懇親会が開催された。総会に先立ち、八田みのり生命歯学部補綴学第2講座講師（90回）より、「これからの審美歯冠修復に向けて－材料特性をふまえた臨床について－」と題し学術講演が行われた。

総会は影山直樹県校友会専務理事（76回）の司会進行に始まり、校歌斉唱の後、昨年8月にご逝去された後藤直行会員（31回）のご冥福をお祈りし黙祷が捧げられた。続いて、吉田 敬 県校友会会長（67回）より会長挨拶、倉治康男校友会本部専務理事（62回）の来賓挨拶と本部報告、八田先生の学内報告が行われた。倉治専務理事の本部報告では校友会共済制度の現状と今後の課題について、また、東京、新潟合わせた元附属校3校の卒業生の校友会入会について、ならびに他大学卒の附属病院勤務歯科医師、教職員の校友会入会についての説明が行われた。八田先生からは講演内で、大学教職員として携わっておられる基礎、臨床課目以外の特色ある各学年の講義、実習の取り組みについてご説明いただいた。

次に新入会員の紹介が行われ、昨年校友会に入会されこのたび総会デビューとなった多田雅治会員（93回）、本年度校友会に入会された石井淳也会員（102回）の紹介、ならびに自己紹介が行われた。お二人とも人柄がにじみ出た自己紹介で先輩方の盛大なる拍手をもって迎えられた。



表彰状の授与



秦会員による万歳三唱

続いて会員表彰が行われ、島根県教育委員会永年勤続表彰を受賞された 岸 祐治会員（74回）の紹介、校友会功労者表彰を受賞された福本隆生会員（64回）には倉治専務理事より表彰状の授与が行われた。

支部報告として事業報告が行われ、昨年10月22日（日）に岡山県で開催された中国地区役員連絡協議会について影山専務理事より、島根県は台風接近による交通機関への影響のため協議会を欠席したことが伝えられ、併せて役員連絡協議会の内容報告が行われた。続いて吉田会長より本年5月26日（土）に富士見ホールで開催された第131回校友会定時総会について、また岸歯学会評議員から本年6月2日（土）、同じく富士見ホールで開催された平成30年度歯学会総会について報告が行われた。

会計の内田真由美会員（71回）より平成29年度会計報告が行われ、秦 紀一郎監事（63回）より適正に帳簿処理がなされている旨の監査報告が行われた。支部報告終了後、議長に選出された野坂 裕 会員（66回）のもと、議事の話し合いが行われ、平成30年度島根県校友会事業計画案ならびに予算案の決定がなされた。

総会終了後は懇親会に移り、吉田会長の会長挨拶、来賓挨拶に続き、多田雅宣会員（63回）の乾杯の音頭で懇親会開始となった。多数の若手会員の参加により、本年度も例年と変わらぬ盛り上がりを見せた。最後は秦会員の万歳三唱をもって懇親会終了となった。懇親会終了後は来賓の先生を交え二次会が行われた。

（梶原光史・78回記）